



広報

かじき

全ご家庭に、もれなく配布

第114号（特集）

41.9.13発行

発行所 鹿児島県姶良郡
加治木町役場 樋口夫
曾中吉 印刷
発行人 印刷
編集人 印刷

祝日「敬老の日」によせて

町長 木 隆 輝

九月十五日が敬老の日として国民の祝日に定まり、先輩のかたがたを敬い、長寿を祝福することを法律で認められたことは、よろこばしいことです。

人間は健康で、一日でも長生きしたいのは、古来また、将来も同じような最大の念願であります。近年日本人の寿命も世界のトップクラスに、はいったことはうれしい。それでも九十歳百歳ということは言うべくして、ほとんどむつかしいことです。

本町では、現在八十歳以上が二百二十四人おられます。九十歳以上は二十四人になります。このうち百歳一人。六十五歳以上でみると千五百六十人に達します。中には病床にありまたは、身体の故障でお悩みのかたもありますが、それでも大部分のかたは「自分は老人ではない。」といろいろな方面に社員をしておら

れます。ほんとにおめでとうと申上げたい。

後進の者として心から敬意を表わし、学ばねばならないところが多い。もちろん成功の経験ばかりではなく、たとい失敗の経験は限らないが、たとい失敗の経験でもそれは若い者にとり数多くの教訓となる点を見いだすことができます。

各御家庭や近隣でお年よりを敬い慰める方法をみんなで考え、せめてこの祝日にはその最高潮の日としてもらいたい。

また、老人クラブのかたがたの年よりは淋しい。友だちも話し相手もない。行動は自由にならない。食べ物も子どものよう好きあります。ここに若い者は思いをはせねばなりません。言いたした

らきかぬ、がんこさ、人の言うことには耳をかさなくなる。これも自然是。ここを若い者が理解してあげることが大事です。

町ではこんど講会にはかつて、敬老年金制度を設けることとしました。九月十五日に満八十八歳に達しているかたで、町内に引き続い一年以上居住しているかたに年金として五千円を、また百歳以上のかたには一萬円を差し上げて御長寿をお祝いすることにきました。町は八十八歳以上のかたがたをおたずねして、このお祝いをお贈りすることとしました。

加治木中学校の生徒のプラスバンドをはじめ、町議会代表、婦人会、部落、県福祉事務所員、社会などつきつぎにたくさんのお祝い客がおうかがいし、およろこびをわざかの金であり、そして年齢をもつと下げたらとの意見もありましたが、それは今後のこととして、本年はとりあえず原案でいくことになりました。

来年も、みなさん残らずお元気で、このお祝いをお受けいただけますよう、いつまでもご健康でいらっしゃるよう念願します。

研修旅行の補助金として十萬円も予算化され、お年よりのかたがたが一日町外に出て、世間をながめ慰安される計画も進められていました。龍門滝の町営温泉もお年より特に高齢のかたがたに無料では

標語

みんなでつくろう
楽しい老後
老後にも



越口ハツギク (94才) 濱戸口ヨネ (95才)

部落名 港町

部落名 萩原

岡山竜太郎 (96才) 後藤 ヨシ (100才)

部落名 中塩入 部落名 萩原



川原 チカ (92才) 白尾 ツル (99才)

部落名 茶碗屋

部落名 弥勤

川原 ツマ (98才) 郡山 スミ (98才)

部落名 見帰

部落名 鶴ノ原

小浜 フジ (94才)

部落名 中塩入



坂元 ムメ (92才) 津崎 シカ (92才)

部落名 西反土後

部落名 田中

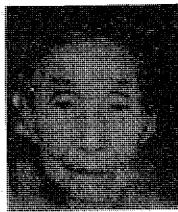
間世田タメ (92才) 竹内 ミ子 (92才)

部落名 港町

部落名 今町

福崎 ナツ (92才)

部落名 弥勒



篠崎 ヨイ (90才) 松木 カネ (90才)

部落名 上木田

部落名 岩原東

緒方ヲケサ (90才) 向江 サキ (90才)

部落名 長谷

部落名 鶴ノ原

江口 エイ (91才)

部落名 弥勒

城川スエゲサ (90歳) 今町
九十歳以上のお年よりのかたは二十四人ですが、今町の城川スエゲサさんは病気のため鹿児島市病院に入院中で、この特集にお写真をかかげることができなかつたことを深くお詫びします。



田口 夕子 (90才)

部落名 田中



赤崎 ツ子 (90才) 石野マンギク (90才)

部落名 西諏訪

部落名 田中



是枝 善蔵 (90才)

部落名 下新道